

# 「ベトナムから見た日本の魅力」 ～選ばれる日本になるためには？～

生団連(国民生活産業・消費者団体連合会) 出水



- 1 現地でわかった日本の魅力
- 2 今後について

# 1 現地でわかった日本の魅力

## 2 今後について

当事者と行政機関では観点や、意見が違っていた

- 事前研修(日本語の勉強)の重要性について意見が異なった。
- 日本でもベトナムでも、技術を身につけた後の「活躍の場」が必要。

### ベトナムの若者



- ・桜や富士山など日本の象徴を見てみたい
- ・事前研修で勉強しても、来日後の日本語のコミュニケーションは難しい
- ・帰国後は技術を活かせる職がない。



### 行政機関

(各地域労働局等)

- ・(出国待期期間を短くするために)事前研修期間を短くしてほしい
- ・他国へ行った場合よりも、身につくスキルが高く、それに伴い帰国後の給料も高くなる

- 正確に運用される制度の仕組みを、考えていかなければならない。
- 国や行政任せではなく、企業も当事者の自覚をもつべきである。

## 送り出し機関



- ・技能実習制度は安心安全に日本へいける制度
- ・企業の募集要項と実態にギャップがあるため、透明性を高めてほしい

## 在越日本国大使館



- ・日本での人権侵害問題が広まってきており、親などの年長者に来日をとめられる
- ・手数料については企業主導で議論をすべき

## ● 日本に来るメリットをいかに拡大できるかが重要

### メリット(日本の魅力)

- ・日本独自の文化の体験ができる
- ・身につくスキルの評価が高く、帰国後も賃金が高くなる
- ・事前研修を含め、技能実習制度は（一部例外を除き）他国よりも安全安心な制度

**+ 長期で稼げる環境**

**+ 日本語学習の手厚いフォロー**

**+ 職場での理解**

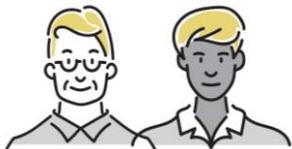
### デメリット

- ・為替の影響により賃金の低迷
- ・事前研修があり出国が遅い（早期に稼げない）
- ・事前研修があっても、来日後のコミュニケーションは難しい
- ・企業入社後のギャップが大きい

1 現地でわかった日本の魅力

2 今後について

## 日本の課題



### 国民性の理解不足

“日本人とベトナム人では大切にしているものが違う”  
という前提を忘れがちで、日本人ベースの働き方になっている



### 能力のある人材が日本でずっと働ける環境の未整備

一定期間働いた後も日本で働き続けるための設計ができておらず、  
ずっと日本で安心して働ける環境にはなっていない



### 帰国後も日本の良さが伝わる仕組みがない

帰国しても、身についた技術を活かせる職場がない。  
日本の技術への評価は高いのに、母国へ貢献できない。

## これからの取り組み



受入れ企業で

ベトナム人にあわせた働き方の  
制度や環境の見直し



日本で

キャリアアップ制度や  
子どもの教育環境の整備



ベトナムで

帰国後の雇用マッチングの  
仕組みづくり、日系企業への支援

日本を選ぶ  
きっかけとなる



ベトナムの若者

帰国後活躍する



日本の良さが  
現地で伝わる

日本でスキルを  
身につける



**選ばれる日本になるサイクルを  
作っていかなければならない**

憧れを持ち、  
日本語を勉強する

あ

優秀な人材が日本に来る

ご清聴ありがとうございました